

第 81 号

平成元年 1 月 25 日

発行 福生市議会

東京都福生市本町 5 番地
電話 0425 (51) 1 5 1 1 (代表)

迎春

今年 は 国 際 児 童 年 から 十 周 年

子 供 は 福 生 の 宝、そ し て 世 界 の 宝

「子 供 た ち よ、将 来 を 頼 む ぞ」

— 多 摩 川 堤 に て —



新春によせて



議長
村尾栄次



副議長
宮沢良一

市民の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、六十有余年の昭和の時代は、大行天皇の崩御により、新天皇のご即位と同時に、元号も「平成」となりました。私どものこの地球上から餓死や争いがなくなり、真の「平和が成る」ようお祈りしたいと存じます。

わが福生市も皆様方のご理解とご協力により、着実な進展を遂げておりますが、さらにより一層の飛躍の「平成元年」となるよう、議員一同努力したいと存じますので、よろしくご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げる次第でございます。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 仲 | 東 | 指 | 堀 | 小 | 上 | 井 | 齋 | 赤 | 遠 | 原 | 松 | 村 | 在 | 林 | 佐 | 南 | 須 | 浜 | 野 | 大 | 田 |
| 村 | 田 | 田 | 川 | 野 | 野 | 上 | 藤 | 星 | 藤 | 山 | 山 | 野 | 原 | 田 | 藤 | 木 | 釜 | 中 | 口 | 森 | 村 |
| 清 | 正 | 保 | 實 | 重 | 重 | 寅 | 行 | 洋 | 敏 | 敏 | 清 | 和 | 博 | 武 | 慶 | 繁 | 亮 | 輝 | 秀 | 正 | 秋 |
| 信 | 治 | 雄 | 實 | 久 | 勝 | 吉 | 異 | 人 | 一 | 子 | 清 | 郎 | 博 | 武 | 二 | 男 | 次 | 夫 | 世 | 進 | 秋 |

議員

第4回 12/7~12/21 定例会

審議日程

12月	
7日	本会議
8日	本会議
9日	本会議
12日	厚生委員会
13日	建設委員会
14日	総務委員会
16日	議会運営委員会
21日	本会議

昭和六十三年第四回定例会は、小春日和が続く十二月七日に招集されました。

今回の定例会には、昭和六十二年度一般会計を初め各特別会計決算認定の審査報告等、十九議案及び陳情一件と選挙二件が上程されました。

第一日目 十二月七日から二十一日までと会期を決めた後、五人の議員から一般質問が行われました。

第二日目 前日から引き続き行われた一般質問に三人の議員が質問を行い、また新たに「リクルート疑惑の全容解明を求める陳情書」が提案されました。

第三日目 この日提案された「期末手当の支給割合を定める条例」を含め、十八議案と陳情一件の審議に入り、各委員会で審査された一般会計ほか六会計の決算審査報告がなされ、討論の後、起立採決の結果賛成多数で認定されました。

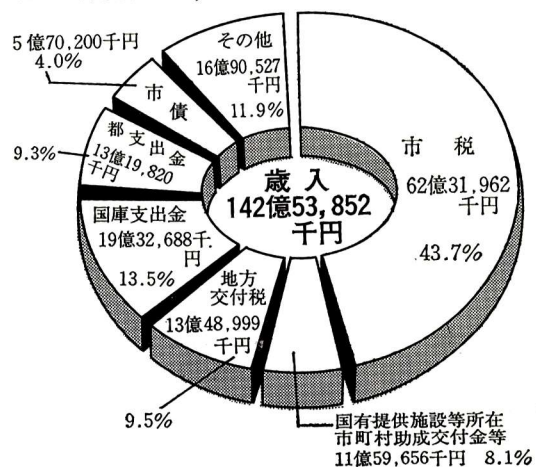
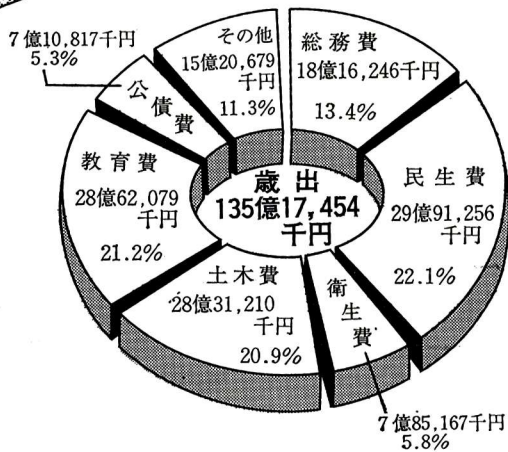
その後、「福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例」ほか十議案と陳情一件の審査に入り、「期末手当の支給割合を定める条例」ほか一件が可決され、九議案と陳情一件が各委員会に付託されました。

第四日目 各委員会に付託された議案等の審査報告がなされ、それぞれ可決されました。

その後、新たに提案された「教育委員会委員の選任」及び「選挙管理委員会委員と補充員の選挙」が行われ、いずれも同意並びに当選されました。

昭和62年度 一般会計決算 135億17,454千円認定

市民1人当たりの 市税決算額112,918円
歳出決算額244,926円



昭和62年度一般会計歳入歳出決算表

昭和六十二年度福生市一般会計決算が昨年九月の定例会で、決算審査特別委員会（在原博委員長、佐藤慶二副委員長）に付託され、十一月二十一日から四日間委員会が開かれました。その審査報告が第三日目になされ討論の後、起立採決の結果、賛成多数で認定されました。

特別委員会の審査から

当初見込みに対し

決算状況はいかに

＜歳入＞

問 当所見込んだ市民税の徴収率に対して、この決算ではどうなったか。

答 個人分の普通徴収分では九三・三％の見込みに対し、決算では九五・二％になっている。また特別徴収分では九九・七％に対し九九・八％であった。

滞納繰り分では三二・七％に対し三七・五％で、徴収率はいずれも見込みより向上した。

法人については、現年分での見込みが九九・三％に対し九四・五％、滞納繰り分では三八・〇％に対し三三・二％であった。

問 財産収入の利子及び配当金は、最近の低金利時代を迎え六十二年度はどのように運用したか。

答 六十二年度は総体で百十一

回運用している。内容としてはNCD（譲渡性預金）が二十九回、大口定期預金が四十五回、外貨預金が八回、現先が二十八回、MMC（市場金利連動型預金）が一回である。

問 米軍人・軍属の自動車違法駐車、交通事故等で市民に与える影響が大きいのに軽自動車税を減免するのはおかしいと思うが、どのように考えられるか。

答 減免については関係方面へも改正されるよう要望している。自治省でも改正したいということで、日米合同委員会に働きかけをしていくようである。

問 南公園のテニスコートは三面あるが、早朝利用の希望者も多い。条例改正をし、現在より早く利用できるようにできないか。

答 条例では八時三十分からとなっているが、今後検討させていきたいと思う。

不納欠損とその件数

及び最高額と最低額は

問 普通徴収と特別徴収の不納欠損額と件数及び最高額と最低額を伺いたい。

答 普通徴収が九百九万七千九百十四円、件数は六百二十一件で特別徴収が七十一万九千五百二十円で件数は百五件となっている。

また、普通徴収の最高額が六十六万七千三十三円、最低額が五百二円で、特別徴収では最高額が十三万一千十一円で最低額が千三十一円である。

問 市営プール使用料については、子供の場合無料券があるので入場料よりロッカー代が高くなってしまうことがあるが、その点どう考えるか。

答 当分の間は、従来どおりの形で負担をお願いしたい。いろいろご批判もあろうかと思うが、二、三年後には買いかえの時期もくるのでその時点で考えたい。

除草剤の散布には

十分な配慮を

《歳出》

問 空地の除草には除草剤を使

用しているが、薬品名と散布場所は何カ所だったのか。また安易に薬で処理するのではなく環境等を十分配慮する必要があると思うが、今後どう対応するのか。

答 薬品名はラウンドアップで散布場所については、加美引込線跡と杉の子保育園附近、多摩橋の近辺等、五カ所である。なお六十三年度からは薬品の使用はしていない。

問 既に

実施されている老人マッサージだが、六十二年当予算の説明と決算とでは、一人当たりの費用が三千三百円だったのが三千円になつており、また医師の予診がなくなつてきているが、その理由はなぜか。



昭和62年度一般会計決算認定賛成多数をもって認定されました
(昭和63年11月25日、特別委員会)

答 当初は予診を行つてからと考へたが、実施に当たつて医師等

に伺つた結果、マッサージ師の判定で十分であるということから、医師の予診を除いたものである。

最近の都市化による

ごみ問題の状況は

問 ごみ減量対策費の關係で、最近都市化が進み、これに伴いごみ問題がクローズアップしてきているが現在の状況はどうか。

答 現在委託業者が収集しているが、特にひどい所は業者から市へ状況の説明があるの

で、その時点で関係者に注意、指導をしている。新しくできるマンション等に

は、不燃物、可燃物を必ず分けるよう指導している。

問 東口の自転車対策はどのようになつていくか。

答 東口には千四百台程度放置されており、高齢者事業団に整理を委託している。将来的には放置自転車条例をつくつて規制していきたい。

問 柳山公園の炊飯施設の利用状況と、PRの方法を伺いたい。

答 炊飯施設の利用件数は、七月にできたので八月以降のもので四件である。また施設ができたというPRは、特にしていない。

夜間開館の

可能性は

問 図書館の夜間開館をしてほしいとの声を聞くが、その可能性はどうか。

答 夜間開館は難しい問題である。都下二十六市の状況は十一市で実施しているが、職員数の関係からパートタイマーで対応しており、昼間と同様のサービスは無理なようである。

当市の図書館は周辺が暗いといったこともあつて、実施に当たつては周辺の整備が必要である。市民に図書館に対する意識調査を行つているので、その結果を参考にして対応を考えたい。



「四月から一年生だい」
(就健での視力検査 2小で)

教育次長 ① 学校保健法によつて昨年と同内容で就健を実施し、全対象者六百九十六名中、未受診者が二十名となつてゐる。また就学相談を二回実施した。
② 文部省や都からの通達はきていないし、平常授業等行つ

就学時健康診断の

実施状況等について

質問 ① 小学校入学時の就学時健康診断は、その内容によっては障害児の差別、選別につながるものである。就健の実施状況を聞きたい。
② 学校での授業や行事に天皇問題の影響があつてはならないと思ふが、その対応を伺いたい。

一般質問



てゐるが、今後の扱いはまだ考えていない。

諸 問 題 は

質問 ① 十一月にE2Cの飛行訓練が行われたが事前に連絡があつたのか、どう対応したのか。
② 現在騒音測定器は、リサイクルセンターに一カ所しかなく、もっと増設すべきだと思ふがどうか。

横田基地に対する

③ ファリピンのクラーク基地からの移駐の、その後の状況を伺いたい。

市長 ① 十一月二十二日、二十三日、二十五日の三日間、ミッドウエー艦載機であるE2Cの訓練が何の連絡もなく行われ、直ちに国や基地側に嚴重抗議をするともに、中止要請を行った。
② 国に対する要請活動の資料

として測定しているが、具体的な増設計画はなく、今後の状況を見て対応していきたい。

③ 移駐予定の五部隊のうち、第六百空軍音楽隊は移駐が終わり、通信部隊は一部、医療部隊はまだ実施されていない。

天皇問題と

市行政の対応は

質問 天皇の重体で日本国中異常な状態となつてゐるが、こうした自粛による国民生活の規制は、法の定めにおける主権在民を踏みにじるものである。天皇問題と今後の市行政に対する考えを聞きたい。
市長 市としての各種行事等の自粛を、独自に実施する考えはないが、現在のところ国や都からの通達はきておらず、通達があった場合は十分検討した上で対応していきたい。

第4回定例会では
8人の議員が一般
質問を行いました

交通事故撲滅は

市民全体の願い

質問 交通事故ゼロは市民全体の願いでもあるが、永田橋手前の交差点や第二・三市営住宅周辺で事故が多く起きているので、この安全対策について伺いたい。

市長 永田橋手前十字路は通学路にもなっており、交通安全上支障を来しているが、近くには既に信号機もあり、信号機の新設は困難と思う。市営住宅周辺については警察側とも協議していきたい。

天皇の代替わりで

学校や行政の対応は

質問 いまの天皇が仮に亡くなられたときは、学校においてはどう対応するか。

また市行政ではどう考えているのか伺いたい。

市長 現段階では特に対応は考えていない。今後通達等があった時点で内容を十分検討の上、対応したい。

教育次長 現在は平常授業や行事をやっており、万一の場合は教育委員会ですべて協議して対応していきたい。

一般質問項目

○米軍横田基地について

1、E2C等の軍事飛行訓練について

2、騒音対策について

3、フィリピン・クラーク基地からの移駐経過について

○天皇問題について

市長の考えと行政への影響について

○教育行政について

1、就学時健康診断について

○交通安全対策について

1、永田橋手前十字路の信号機設置等の対策について

2、第二・第三市営住宅周辺の安全対策について

○横田基地について

1、クラーク基地からの移駐経過について

2、軍人軍属の市内居住について

3、九〇十一月期の離着陸数について

4、基地カーニバルについて

○天皇代替わりについて

1、学校等での対応について

2、市行政の対応について

○就学時健診について

1、実施の状況について

2、今後の考え方について

○保育行政について

公・私立保育園における三歳未満児の措置状況と無認可保育所の問題について

○妻の日制定について

妻の日を制定し、妻の労苦を認識し、その福祉の向上を図る考えについて

○拝島駅周辺の整備について

昭島市と協議し、第三セクターによる駅ビル建設の考えについて

○交通安全対策について

通学路の安全対策について

○ほたる公園について

保護研究会への助成と整備等について

○都市農業について

「田んぼ」の保存対策について

○JR牛浜駅について

1、東口階段とトイレの設置について

○自転車駐車場について

2、自転車駐車場について

○住宅行政について

1、市営住宅について

2、民間住宅の借上げ制度について

○図書館行政について

1、ビデオ・CDの貸出しについて

2、レーザーディスクコーナーの設置について

○市営公園について

設置の考えがあるか

○緑化対策について

1、下の川沿いのハケの保護について

○公園等の緑化について

2、公園等の緑化について

○老人福祉施策について

老人世帯に関する施策の充実について

○障害者（児）施策について

れんげ作業所の運営について

○保育行政について

今後の保育所運営の見通しと保育料について

○住宅問題について

公社住宅等の住環境について

○天皇問題について

主権在民の立場で対応する考えについて

○基地問題について

1、基地対策室（課）の設置について

○児童館について

2、フィリピンからの部隊移駐について

○児童館について

3、年末年始の飛行停止について

○子供の科学館について

増設の考えについて

○子供の科学館について

建設する考えについて

○市行政の推進について

市の将来計画と問題点について

軍人軍属の居住状況と

行政としての位置づけは

質問 ① クラーク基地からの移駐も、既に音楽隊は終わっているようだが、今後の他の部隊の移駐はどうなのか。またF5Eタイガーを保有

機の離着陸数について伺いたい。④ 例年開かれる基地の友好祭は、今年は天皇の関係で中止されたがこうした自粛問題とは関係なく今後も中止してほしいと思うがどうか。



土曜の午後、仲間と一緒にショッピング

市長 第六百空軍音楽隊の移駐は完了したが、通信部隊や医療部隊は来年九月頃完了予定と聞いています。またF5Eの移駐は承知していません。

する上でのごみ処理等は市が行っている。③ 九月期から十一月期の飛行の位置づけについて聞きたい。

② 軍人軍属は暫定的な居住であり、外国人登録の除外とか日本の租税納付義務は負わない等から考え、住民と位置づけることは困

訂正とお詫ひ
議会だより80号の一部を次のとおり訂正してお詫びします。

訂正箇所		誤	正
7ページ	4段目	約六百十名	約六百数十名
12ページ	1~2行目	平均八十九	最高八十六
"	3行目	三百九十一回	四百九回
"	"	平均百一	最高百十

難と思う。しかし現実市内に居住していることを踏まえ、人道上の人権や基本的権利の尊重という面から対応していきたい。

④ 基地側の事情で中止したと思うが、このカーニバルは日米友好親善を図る上では意義があり、今後も招待があれば出席したいと思う。

市民部長 ② 十一月末の軍人軍属は三百九十七人で、家族を含めると七百五十八人となる。

③ 九月は、本年は千六十六回、前年が千二百四十九回で百八十三回の減、十月は、本年が千三百二十七回、前年が千四百五回で七十八回の減、十一月は、本年が千三百七十四回、前年が千百三十三回で二百四十一回の増となっている。

知能テストの方法と

今後の方針は

質問 就学時健康診断は義務化

となり、健康状態だけでなく知能テストまでやっているが、その実施方法と今後の方針は。

教育次長 知能テストは小学校で、児童への面接とか○△等を書かせる方法で実施しており、今後もその方針でやっていきたい。

妻の座を見直し

是非「妻の日」を

質問 高齢化社会を迎え、女性は男性より平均年齢でも長生きとされており、その分孤独でしかも経済的苦しみもある。母の日はあるが、それにもまして妻の座を見直し「妻の日」を制定し、福祉を考えてみてはどうか。

市長 慣習化している「母の日」もあるが、趣旨は理解できるものの夫対妻となると、公的に取り組むことは問題があると思われる。男女平等や高齢化等もあり、研究していきたい。

拜島駅ビル構想に

取り組む考えは

質問 福生駅西口の再開発に先がけて昭島市との境界地域にある

拜島駅の駅ビル構想に、今後取り組む考えがあるか。

市長 駅ビル構想について具体的計画を立てたことはないが、ホーム改良等について昭島市ともどもJR側に要望したことがある。多くの当市民が利用している駅であり、また拜島駅前の開発について関係者で「考える会」も組織されており、当市の地域も含まれているので、機会があれば昭島市長と話し合ってみたい。

当市の三歳未満児の

保育措置状況は

質問 市内には公・私立保育園十二園の外に無認可保育所が三カ所あるが、当市における三歳未満児の保育措置状況について伺いたい。

市長 社会経済や生活様式の変化で、女性の社会参加の増加とともに、児童福祉の分野における保育所の存在意義と役割は大きくなり、望ましい子供の保育が課題と

なっている。そのため三歳未満児を含めた保育実態の調査研究に取り組んでいるところである。

福祉部長 三歳未満児の措置状況は、零歳児は公立が一園で三名、私立で七園の四十四名、一歳児が公立四園で十五名、私立が七十七名、二歳児は公立で三十七名、私立が百三十四名となっている。無認可保育所として認可された二園では、零歳児十一名、一歳児七名、二歳児三名となっている。保育料は月額三万円から三万五千円、また無認可の一所所では、零歳児十四名、一歳児八名、二歳児六名となっており、保育料は約四万六千円となっている。

保育時間は、公・私立とも特例保育として朝七時半ごろから夜六時までやっている。

ほたる公園の

フェンス等の整備を

質問 関係者の努力によりほたる祭りも年々盛大に行われるが、この公園整備について、残っている約四十メートルのフェンス工事は湧水のパイプ整備等の考えがあるか。

市長 六十二年度で一部フェンスの改修工事をしたが、未改修部分を含め、公園施設全般について関係者と協議し整備していきたい。

福生駅の次には

牛浜駅の整備を

質問 福生駅が整備され、誇りに思っているが、今後は牛浜駅の改善をすべきである。ホームの階段増設や東口のトイレ設置、あるいは自転車の駐車場整備について伺いたい。

市長 JR東日本の所有地であり難しい面もある。駅舎を含め検討していきたい。東西口の自転車駐車場も用地確保が不可欠であり、代替地を含め関係者と交渉中である。

市民部長 現在東側に約三百六十台、西側に約五百台駐車している。年二回放置自転車の撤去をしており、今後方法等を検討していきたい。

建設部長 トイレの問題は、東口に設置する方法と駅舎改修時に整備する方法がある。相手のあることであり、今後実現に向け努力していきたい。



市民の利用客も多い

JR 拜島駅南口

見通しの悪い通学路

安全対策を講じては

質問 三小や一中の通学路となっている西村医院前の交差点や、その先の踏切を渡った道路は狭い上に見通しも悪い。事故も多発しているので安全対策を講ずるべきと思うがどうか。

教育次長 警察や学校等と相談して通学路を定めているが、ご指摘の道路について、関係機関等に要望していきたい。

建設部長 西村医院前の十字路口については、注意させるための安全策としてカラー舗装で整備したが、信号機設置ができるまで、対策に努力したい。

田園地区の田んぼ

何とか保存できないか

質問 田園地区は区画整理をする前は一面の田んぼであったが、

いまは一、二カ所しか残ってなく、いずれこれもなくなくなると思う。こ



昔を偲ばせる北田園地区に残るわずかな「田んぼ」

うした自然の営みを何とか関係者の理解で保存できないものか。

市長

都市農業の問題として後継者問題、農業環境

の悪化、地価高騰による財産管理の問題等があり、農地として保有するのは至難と思われる。田んぼとしての持続性等耕作者に対する環境づくりが大切と考えている。

議会を傍聴

しましろう

次の定例会は

3月です。

公共住宅政策の

今後の考え方は

質問 ①地価の高騰で家を求めることは一層困難になり、賃貸家賃も高くなった。公共住宅の役割はますます大きく、当市の市営住宅建て替えも、三階以上の高層化にすべきと思うがどうか。また一人暮らし老人用の住宅提供について伺いたい。

② 急速な高齢化が進む中で、老人が民間アパート等を借りようとしても貸してくれないのが実態であり、そのため自治体が借りて幹旋している例がある。当市でもこの制度を考えたらどうか。

③ 無秩序な宅地開発の防止のために、四十九年に宅地開発指導要綱ができ、それなりの成果があったと思うが、教育負担金の状況は他市に比べてどうか。

市長 ① 現在まで市営住宅を建て替えし、八棟に百二十六世帯が入居した。来年度も計画しているが、今後においては利用効果がるよう用途地域の見直し、また変更承認が得られるよう努力していきたいと思う。老人用住宅も建替計画の中で十分研究したい。

② 民間の老人向け住宅確保は社会問題となっているが、なかなか家主の理解と協力が得られないようである。政策としては結構なことであるので今後の検討課題としたい。

③ 要綱制定以来、良好な都市環境の形成に、その役割を果たしていると思う。法的根拠がないという問題はあるものの、それなりの価値はあると思っている。

建設部長

③ 教育負担金は対象戸数が各市まちまちであるが、当市は二十七市町中、上から十一番目で、二十戸を超える開発の場合には、超える戸数一戸当たり約八十八万円となっている。

緑の保全と

公園の個性化を図れ

質問 ① 下の川の自然が、緑のマスタープランの骨格として位置づけられているが、一方ふたかけをして道路にする工事も進められている。この下の川の環境調査の状況について聞きたい。

② 市民一人当たりの公園面積を六平方メートルという目標を進めているが、各公園の個性化を図ったかどうか。

市長 ① ハケの部分について

は当市にとって数少ない緑地帯であり湧水場所もあるので、今後買収する必要があると考えている。管理上の問題を煮詰めて具体化していきたいと思う。

② 実施計画の策定に当たり、花壇の造成を計画しており草花の管理等について検討している。

建設部長 ① 当市のマスタープランとしての緑の活用について昨年調査した。基本的な考え方として緑のマスター



大切な緑、保護をしながら工事は進む
(下の川の工事)

プランの骨格と位置づけた下の川を、水と緑を生かした緑道として整備し、その自然保全と活用を図る必要があるとの調査結果が出た。

保全の方法は、
水路や道路整備の次に、水路上の空地整備をし、緑地については、買取方式で行い管理し

ていくというものである。

図書館でビデオ

CDの貸し出しを

質問 業者と日本図書館協会との話し合いがいったといわれるビデオやCDの貸し出しを実施する考えがあるか。

教育次長 ビデオやCDの普及で今後市民からの要望も強まると

思われるが、活字資料と合わせ図書館機能をどう効果的に果たすか検討委員会で取り組んでいる。レーザーディスクコーナーも、そのスペース確保の問題があり、今後検討していきたい。

市営霊園の建設

今後必要と思われるが

質問 以前にも市営霊園について質問したが、最近国や都でも検討しているようである。市の行政として今後考える必要があると思うがどうか。

市長 墓地需要の増大は事実と思うが、市内にはそのスペースも皆無であり、他市町村への設置も難しいと思う。しかし将来的にも重要な課題と思うので、基本計画策定の中で検討していきたい。

議会日誌

10月	3日	全国都市問題会議(5日まで)
	4日	総務委員会行政視察(6日まで)
	7日	全国市議会議長会基地協議会正副会長・監事・相談役会議
	12日	建設委員会 議会運営委員会
	14日	東京都市収益事業組合第二回定例会
	15日	青梅・羽村・福生地区都市下水路組合議会
	18日	第二回臨時議会 議会報編集会議
	19日	横田基地対策特別委員会建設委員会行政視察(21日まで)
	24日	厚生委員会
	26日	三多摩地域廃棄物広域処分組合議会行政視察(28日まで)
11月	2日	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第二委員会
	5日	東京都市収益事業組合議

施設の増設を図り

児童館機能の充実を

質問 児童館機能を持った田園会館は、利用者も多く好評であることから、この施設の増設の考えはあるか。また今後は熊川や福生地区にも、児童館を設置すべきだと思うがどうか。

市長 現施設については、面積や建ぺい率等から増設は困難である。公民館活動の中で児童向けの教育を開設しており、年間事業として図書館事業とも連携し取り組んでいきたいと思っている。

自粛の強要や

異常報道は反民主的では

質問 九月に天皇が重体となつて以来、国では自粛をあまりマスコミも異常報道を繰り返している。国民生活や国政に重大な影響を与えていることは、極めて反民主的な事態と言わざるを得ない。教育関係諸行事の自粛や、死亡に際してのさまざまな強要、授業の変更をしない等、主権在民の原則にのっとり対処することを求めるものであるが、その対応につい

て伺いたい。

市長 現段階では各種行事の中止や自粛など、独自に実施する考えはないが、今後通達等があった場合にはその時点で内容をよく検討し、対応していきたいと思う。

子供たちのために

科学館の建設を

質問 子供たちが本で知るだけでなく、天体やエレクトロニクス等、著しく進歩していることを、自らの体験で知ることのできる科学館の建設の考えについてお聞き

教育次長 現在のところ国や都からの通達はきていない。小・中学校の授業や行事も、平常通りやっており、万が一の場合には教育委員会と十分協議し、慎重に対応したいと思う。

したい。
教育次長 多種多様な博物館について、プロジェクトチームで検討してきた経緯があって、昔の歴史や風土、自然を理解する上で



中央図書館に併設された郷土資料室
子供たちにはめずらしいものがいっぱい

役立つ郷土博物館がふさわしいというのであった。今後これらも含めて検討していきたい。

21日	16日	14日	13日	12日	9日	8日	7日	2日	1日	12月	29日	21日	18日	15日	14日	10日	9日	
第四回定例会(四日月)	議会運営委員会	総務委員会	建設委員会	厚生委員会	第四回定例会(三日目)	第四回定例会(二日目)	第四回定例会(一日目)	第二回西多摩衛生組合議会定例会	議会運営委員会	月定例総会	東京都市議会議長会十一月定例総会	昭和六十二年度福生市一般会計決算審査特別委員会(25日まで)	西多摩地区議長会 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第三委員会	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第二委員会 (16日まで)	議会運営委員会行政視察	知事懇談会	多摩地区離職対策連絡協議会行政視察(11日まで)	会行政視察(7日まで)

あらゆる情報収集のため

基地対策室(課)の設置を

質問 横田基地の存在は、市行政や市民生活に悪影響を与えていることは事実である。米軍施設のあらゆる情報を収集し、市民に知らせることも必要であり、そのための基地対策室なり課を設ける考えはあるか。

② クラーク基地からの移駐問題について、すべて明らかにするとともに移駐反対を貫く決意につ

いて伺いたい。

③ 昨年から今年の年末年始の飛行回数は少なかったが、今年も飛行停止要請をする考えか。

市長 現在の涉外担当というセクシオンは、基地の存在を基本的に容認しつつ、障害防止や民生安定事業等の対策を推進するための総合的窓口及び関係機関との渉外のために設置されたもので、課や室の設置の考えは現在のところない。

② 第六百空軍音楽隊は移駐が完了、その他は一部移駐が始まっ

人 事

教育委員会委員に 来住野 和也氏を同意

教育委員会委員の欠員に伴い、来住野和也氏を任命したい旨提案され、賛成多数をもって原案どおり同意されました。

選挙管理委員決まる

任期満了に伴う選挙管理委員及び補充員に、次の方々が当選されました。

▷委員▷

板 寺 昌 一 氏(本町88)
平 原 治 作 氏(福生1,210)
天 野 悦 年 氏(熊川182)
中 森 信 行 氏(本町91)

▷補充員▷

鈴 木 幸 恵 氏(牛浜157-2)
壺 田 成 司 氏(福生546)
樋 口 拓 行 氏(熊川904)
神 谷 宜 徹 氏(熊川716)

たところである。中止要請は機会あるごとにやっていると、安保条約に基づき実施されているものであり、困難な情勢である。

③ 正月三が日の飛行停止について、既に国と基地側には文書で要請をした。

質問 高齢化とともに

老人福祉施策の充 実 を

一人暮らし老人もふえ、老人福祉対策の充実が求められている。そこで老人入院見舞金制度の実施、各種施策の内容拡大、老人住宅対策としての民間アパートの借り上げと家賃の補助等の諸施策について伺いたい。

市長 老人施策はあらゆる角度から、実情に沿った福祉施策でなければならず、高齢者対策全般にわたって今後研究していきたい。

福祉部長 老人関係の施策としては二十四項目で、このうち市単独で十三項目実施しているが、新規施策についても検討したい。

老人見舞金制度は、各市の状況を調査しているところである。敬老金や入浴券の枠拡大について

は、今後考えていきたい。ボランティアのご協力によって実施している昼食給食サービスは、回数増等につき社会福祉協議会と相談していきたい。老人向け住宅の貸付は都下で二市実施しているが、家主の協力を得るのが困難のようだ。

団地住民への

行政格差の解消を

質問 住宅供給公社の熊川団地と加美平団地の住民は、公園や道路等の維持管理費の負担を強いられる。これは行政格差でありどう考えるか。

市長 行政として整備する範囲と、公社で整備する範囲があると思うが、十分に調査研究したい。

建設部長 敷地内の公園は公社なり都で管理している。給水塔や街路灯の電気代は、一般住宅との公平面から難しい。団地内の道路は敷地内通路であり、一般の私道とは区別しているのので、整備は困難である。

市民部長 ごみ収集は紙袋やポリバケツで収集するのが基本であり、例外として団地にダストボックスを認めている。今後も現行でいきたい。

れんげ作業所 今後の入所者の対応は

質問 障害者の方が働ける場所は、れんげ作業所しかないが、既に定員もいっぱいであり、来年度以降の入所者についてどう対応する考えか。

市長 五十七年二月に開所し、

関係者のご理解とご協力とで順調に運営されている。今後の入所希望者を考えると、若干支障を来すようであるが現施設での創意工夫をし、運営していただきたい。

福祉部長 来年度で二名、再来年度で四名程度の入所が予定されており、今後この点について十分検討していきたい。

子供の減少で 定員割れ保育園の方策を

質問 児童福祉法により市町村長は、保育に欠ける子供を保育しなければならぬ旨規定されている

るが、子供の減少で定員に満たない保育園がある。この解決には産休明け保育の実施で一、二歳児



「ネエー先生 私が押してあげるから」

の定員増加を図るのが不可欠と考えるがどうか。また保育料を三年連続値上げしたが、保育の対応から考えて決すべきではないか。

市長 部内でも今、

市の将来計画と 問題点いかに

問題点いかに

質問 当市の環境をみると、圏央道やモノレールは直接関係がなく、行政推進上大きな課題となっている片倉跡地や仮称八小用地等の問題が残っている。これは遠大な構想と思うが、この片倉跡地に市のシンボルタワーとして二十階、三十階のビルを建設したらどうか。あるいは仮称八小用地の関係地主さんのご理解を得て、国際都市福生を象徴する外国の大学誘致を図ったらどうか。さらに青梅線の高架化を推進して、狭い区域

後の保育所のあり方等について、調査研究をしており、また保育料も専門委員会の答申を尊重する中で検討していきたい。

福祉部長 五十四年頃には零歳から五歳児が約五千五百十五名であったが、その後一〇%から二〇%減少しており、市としても今後の保育園全体を見直す必要があると考えており、三歳未満児も含め調査研究をしている。

の有効利用を図る等、これらの計画に対する考え方を聞きたい。

市長 現在の取り組み方として福生駅西口の再開発や仮称八小用地問題について、近くその方向づけを見出したく、ご相談申し上げたいと思っている。新しい福生市づくりのために、クリーンでユニークな福生を目指し、長期計画の策定に取りかかっているとある。

また今日的な課題として、高齢化、国際化等のニーズも単独の部や課だけでは処理ができない非常に複雑多岐にわたる問題が多く、総合的に処理するためには、広い視野と能力が要求される時代であり、職員ともども今後勉強していきたい。



<討 論>

今定例会では、次の議案に対し反対並びに賛成の討論がされました。

- 議案第55号 昭和62年度福生市一般会計決算認定について
- 議案第56号 昭和62年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について
- 議案第57号 昭和62年度福生市老人保健医療特別会計決算認定について
- 議案第59号 昭和62年度福生市下水道事業会計決算認定について
- 議案第61号 昭和62年度福生伝染病院組合会計決算認定について
- 議案第71号 福生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正
- 議案第71号 福生市下水道使用料条例の一部改正
- 議案第74号 昭和63年度福生市一般会計補正予算(第3号)
- 議案第77号 昭和63年度福生市下水道事業会計補正予算(第2号)

陳情・請願

採 択

○陳情第六十三―十九号 環境破壊につながる高層マンション建設反対の陳情書

福生市福生八七五

鈴木 定雄氏他三百三十七人

―昭63・7・29提出―

継 続

○陳情第六十二―二十一号 三宅島米空母艦載機夜間離着陸訓練基地建設計画に関する陳情書

三宅村坪田一、七七四

持丸 教能氏

―昭62・12・9提出―

○陳情第六十三―二号 保健、医療、福祉の拡充に関する陳情書

杉並区成田東四一―三一六

加藤 毅氏

―昭63・2・24提出―

○陳情第六十三―三号 国庫負担を減らし、自治体と被保険者負担増をもたらず国民健康保険法の改悪に反対する陳情書

福生市福生一、一四二―一六

沢本 早苗氏

―昭63・3・7提出―

○陳情第六十三―四号 名称・形式を問わず大型間接税の導入に反対する陳情書

福生市福生二、三五六一―一五

今村 昭六氏他千九十五人

―昭63・3・7提出―

○陳情第六十三―五号 入院ベッドの確保に関する陳情書

福生市熊川五三一―一一

岩本 寅次氏他六百十四人

臨時議会

(第二回)

昭和六十三年第二回臨時議会が十月十八日に招集され、下の川改修その二工事請負契約ほか陳情一件の審査報告がされ、同意並びに採択されました。

―昭63・3・7提出―

○陳情第六十三―十一号 消費税(新型間接税)の導入に反対する陳情書

青梅市西分三―一六五

中村 正氏他千十三人

―昭63・8・30提出―

○陳情第六十三―十四号 消費税(新大型間接税)の導入に反対する陳情書

福生市加美平二―二―一二

松田 司氏他二千七百六十二人

―昭63・9・6提出―

○陳情第六十三―十五号 消費税(新大型間接税)の導入に反対する陳情書

福生市加美平四―一五―三〇六

土屋 暢彦氏他八百八十三人

―昭63・9・6提出―

○陳情第六十三―十六号 リクルイト疑惑の全容説明を求める陳情書

羽村町羽一、九〇五

岩本 寅次氏他五団体

―昭63・12・2提出―